

所管事務調査報告

	民生福祉常任委員会
	令和元年 12 月 4 日
調査事項	病院経営に関すること
調査日時	令和元年 11 月 25 日
調査項目	<p>1. 地域医療構想再検証病院の公表について</p> <p>2. 山陽小野田市民病院の対応について</p>
調査によって明らかになった事項	<p>1. 地域医療構想再検証病院の公表について</p> <p>地域医療構想の実現に向けて診療実績データを分析し、診療実績が特に少ない又は診療実績が類似かつ近接している公立・公的病院を病院再編の具体的な対応の再検証を求める「再検証要請対象医療機関」として公表した。</p> <p>市内では、山陽小野田市民病院と小野田赤十字病院が対象になっている。山陽小野田市民病院は救急医療と周産期医療に「診療実績はある」とされたが、両医療を含めて類似の実績をもつ医療機関が近接していると評価され、要検証病院となった。</p> <p>ダウンサイジング、機能分化・連携などの具体的な対応については、地域医療構想調整会議において議論し、2020年9月までに取りまとめられる予定だが、国が対象機関に何を要請するかはこれから検討するとしている。</p> <p>(主な質疑)</p> <p>Q：厚労省はどのような意図で再検証病院を公表したのか。</p> <p>A：地域医療構想調整会議の議論を活発化するためである。</p> <p>Q：民間病院との関連性について説明があったのか。</p> <p>A：民間医療機関のデータ分析はどうなるのかという質問があった。民間の意見もあるので今後調整が必要ではないかと思う。</p>

	<p>Q：地域医療構想調整会議の構成員はどうなっているか。</p> <p>A：病院の各院長と医師会が入っている。</p> <p>2. 山陽小野田市民病院の対応について</p> <p>病院を効率的に経営し、地域医療を守ることを大前提に調整会議での議論に入っていきたい。</p> <p>民間病院では担えない役割を踏まえ対応していきたい。現時点では、廃院や他の病院に統合されることはないと思っている。</p> <p>機能分化については、相談できる所があったら相談する。ダウンサイジングについては、国からの指導にもよるが経営効率を考えながら計算する必要がある。</p> <p>(主な質疑)</p> <p>Q：病床数の減に応じるのか。</p> <p>A：今後の調整会議における議論や国からの指導により決定する。</p> <p>Q：現状の経営形態を続けるのか。</p> <p>A：急性期 215 床であれば新病院の経営はやっていけるので、患者数の確保に努め、現状の体制を維持したい。</p> <p>Q：紹介状のない患者から保険外併用療養費を徴収することとベッド数を調整することを別々に考えているのか。</p> <p>A：現時点では分けて考えている。5,000 円の負担となると外来患者数が減る可能性があり、大きな検討課題だと思っている。</p>
<p>今後の委員会の対応又は結論</p>	<p>地域医療構想調整会議における今後の議論を注視しつつ、適時報告を求めていく。併せて、病院経営全般についても調査及び提言をしていく。</p>